

平成27年第1回安堵町議会定例会会議録

(第2日)

日時 平成27年3月6日(金) 午前10時

場所 安堵町役場 議場

1 応招議員 10名

1 番 森 田 瞳	2 番 浅 野 勉
3 番 植 田 英 和	4 番 中 本 幸一
5 番 島 田 正 芳	6 番 松 田 和 代
7 番 松 本 正 弘	8 番 山 岡 敏
9 番 田 中 幹 男	10 番 福 井 保 夫

2 出席議員 9名

3 欠席議員 7 番 松本 正弘

4 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	成瀬 博	書 記	吉川 明宏
--------	------	-----	-------

5 地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者の職氏名

町 長	西本 安博	副 町 長	北田 秀章
教 育 長	楮山 素伸		
統 括 理 事	寺前 高見	総務部門理事 兼総務課長	近藤 善敬
民生部門理事 兼健康福祉課長	磯部 あさみ	事業部門理事 兼産業建設課長	堀口 善友
会 計 管 理 者	喜多 君美代		
総合政策課長	富井 文枝	税 務 課 長	中野 彰宏
住 民 課 長	堀川 雅央	人権同和対策課長	大星 義博
上下水道課長	石橋 史生		

6 会議事件は次のとおりである。

日程

第 1 一般質問

開 会
午前10時

議長（山岡 敏） これから本日の会議を開きます。

議長（山岡 敏） 本日の議事日程は、お手元に配付しているとおりでございます。

議長（山岡 敏） 日程第1 一般質問を行います。

一般質問をされる方を申し上げます。

10番 福井 保 夫 議員

6番 松 田 和 代 議員

9番 田 中 幹 男 議員

2番 浅 野 勉 議員 です。

順序につきましては、受付順に行います。

なお、質問時間は答弁を含めて40分でございます。よろしくお願いいたします。

議長（山岡 敏） 10番福井議員の一般質問を許します。

10番（福井保夫） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、福井議員。

（10番福井議員 登壇）

10番（福井保夫） おはようございます、10番福井です。

まず、一番目に、「安堵保育園児の運動能力について」

三宅町立三宅幼稚園では、幼児の運動能力が全国基準を下回る中、同園は平成24年度から足育を開始し、平成26年5月の調査では4種目の評定値合計が4歳児、5歳児とも県の基準を上回った。

安堵保育園の現状はどうか伺います。

二番目に、「電力調達について」

平成26年12月19日の毎日新聞によりますと、斑鳩町では、電力調達の入札で7社が参加し、東京の特定規模電気事業者PPSが落札した。

町の試算では、関西電力との比較で電気代が約2割、年約1,158万円削減できる。

斑鳩町は平成25年3月に県内町村としては、初めて役場庁舎単独の電力調達の入札を実施、今回対象施設を広げたとありますが、安堵町でも検討を。

三番目に「教育の一環として、子ども議会の開催について」

先般、1月29日に川西町で、川西小学校6年生の社会科の事業の一環として、子ども議会が開催されました。

高取町では、昨年夏、社会を明るくする運動の推進委員会が高取子どもサミットを開催しました。

どちらも教育の一環として意義があると思います。

安堵町でも開催してみてもどうか伺います。

四番目に「定年後の再任用について」

俸給等の条件はどうなっていますか伺います。

以上の4点ですよろしくお願いします。

議長（山岡 敏） 安堵保育園児の運動能力について、答弁を求めます。

住民課長（堀川雅央） はい、議長。

議長（山岡 敏） 堀川住民課長。

（堀川住民課長 登壇）

住民課長（堀川雅央） おはようございます、住民課堀川でございます。

それでは福井議員の安堵保育園児の運動能力についてという質問にお答えさせていただきます。

自動車の普及等、交通機関の発達や、遊び方の変化により、子どもの運動の機会が減り、運動能力が低下していることは認識しております。

文部科学省が幼児期運動指針を示し、運動能力の向上に取り組んでいるところでございます。

奈良県におきましても、教育研究所が主体となって、平成22年度から運動能力等実態調査を任意で実施しているところでございます。

当町といたしましては、安堵保育園は、今回調査に参加していませんが、幼児期に神経機能の発達が著しく、タイミングよく動いたり、力の加減をコントロールしたりするなど、運動を調整する能力が著しく向上する時期であることを重視し、平成22年度より、生駒郡保育士会から体育専門の講師を招き、各年齢に応じた指導をいただき、この指導を基に、毎朝20分程度サーキットに取り入れています。

また、ドッジボール、縄跳び等積極的に遊びに取り入れ運動能力の向上を図っているところでございます。

幼児期は人間の体力の基礎となる部分を担っており、一貫した体力づくりは、生涯の身体づくりに繋がると認識しております。

現在小学生の体力テスト測定に対し、中学校保健体育科の教員が、支援も行っていましたが今後保育園も、保育士が園児の体力向上ができる運動を取り入れられるように、中学校保健体育科の教員の支援も受けて、保育園、小学校、中学校と連携しながら、安堵町の子ども達の体力向上に繋げるよう検討してまいります。

以上でございます。

10番（福井保夫） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、福井議員。

10番（福井保夫） あの、ロバート・フルガムという哲学者が、人生に必要な知恵は、全て幼稚園の砂場で学んだと言っています。

心身ともにやはり将来のために、重要な時期ですので、最善を尽くしていただきたいと思います。

先ほど、堀川課長の答弁で、保育園、小学校、中学校と連携してとありましたが、今まあ小中一貫教育はいろんなところで始まっています。

安堵町では、保育園、小学校、中学校一貫教育を進め、売り出してみてもどうかと思います。

これに関してはこれで終わらせていただきます。

議長（山岡 敏） 続いて、電力調達について答弁を求めます。

総務課長（近藤善敬） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、近藤総務課長。

（近藤総務課長 登壇）

総務課長（近藤善敬） 改めまして、おはようございます、総務の近藤でございます。
それでは福井議員の御質問にお答えいたします。

新電力の導入は、現在奈良県、生駒市、香芝市、桜井市、大和郡山市、斑鳩町の一部の施設において実施されております。

議員ご指摘の、斑鳩町の導入は、平成25年10月から役場庁舎の電力を新電力に切り替え、一定の効果が出たことから平成26年12月に施設、対象施設13か所に増やして、入札を行い、東京電力の完全子会社が落札。関西電力と比較して、電気代が年間1,158万円削減できると聞き及んでおります。

新電力を自治体が導入した場合、経費の削減が期待できる一方、新電力会社の電力が不足した場合、安定した供給が行われるかどうかということが懸念事項の一つとして挙げられます。

新電力の仕組みとして、問題は発生しないと聞いておりますが、自治体の参入が最近のため、その実績効果がまだまだ未確定な部分もあります。

今後、供給業者や既に導入している自治体から詳しく情報を収集し、安定供給と、経費削減を目指して検討していきたいと考えております。

以上でございます。

10番（福井保夫） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、福井議員。

10番（福井保夫） 特に隣の斑鳩町ですので、その後の状況をよく調査しながら、今後まあ2,3年様子を見てよければ、実施していただきたいと思います。

電力調達については、これで終わります。

議長（山岡 敏） 続いて、教育の一環として、子ども議会の開催についてを、答弁を求めます。

教育長（楮山素伸） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、楮山教育長。

（楮山教育長 登壇）

教育長（楮山素伸） おはようございます、教育長の楮山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは福井議員の御質問についてお答えをします。

子ども議会の開催についてのお尋ねでございますが、川西町や、高取町の取組は、子ども達が議会の仕組みや、地方自治体の運営の仕組みを体験的に理解し、政治への関心を深める上で意義深い取組であると思います。

参加した子ども達は、緊張感を持って議会に臨むことができ、その後の学校での学習の活性化に繋がったという声も聞かれています。

こうした取り組みは、県内だけではなく全国の各地で地域の実態に合わせ様々な形態で実施されていることもわかりました。

また、議場を見学することや、実際の議会を傍聴することも、方法も考えられます。

従いまして、安堵町におきましても、先行事例を参考に町立学校の児童生徒の実態と、教育課程を十分に考慮し、子ども達が行政の営みに触れる機会を模索してまいりたいと考えております。

以上でございます。

10番（福井保夫） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、福井議員。

10番（福井保夫） 小学校一つ、中学校一つで実施しやすい面もあると思います。

特にこういう面に掛かりました経費も掛からないことですし、どんどんいろんな他町に、した後でもかまいませんから、実施していただきいろんな経験を積ませて、子ども達に積ませてもらいたいと思います。

まあ、選挙権も18歳以上になろうとしています、これからやはり子ども達にもそういう意識を強めさせるためにも、実施をお願いしたいと思います。

教育の一環として子ども議会の開催についてはこれで終わらせていただきます。

議長（山岡 敏） 続いて、定年後の再任用について、答弁を求めます。

総務課長（近藤善敬） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、近藤総務課長。

（近藤総務課長 登壇）

総務課長（近藤善敬） え、それでは福井議員の御質問にお答えいたします。

再任用は、地方公務員法第28条の4から、第28条の6の規定により、任用する制度であり、年金支給開始年齢の引き上げにより、無収入期間が発生しないよう、公務員の雇用と年金の継続を図るために、本町におきましても従前の勤務実績等に基づく選考により、平成26年度から実施しております。

再任用できるものは、定年退職者又は25年以上勤続し、退職日から5年を経過する日までのものでございます。

給料につきましては、再任用された際に、改めて格付けされた再任用職員対象の給料欄が適応されます。

職務級別に、1種類ずつ定められ、抑制されたものとなっております。

職員手当につきましては、扶養手当や、住居手当などの生活関連手当を除き、支給されます。

また、退職手当は支給されません。

保険関係では、フルタイムの再任用職員は、共済組合、及び雇用保険に加入します。

短時間再任用職員は、勤務時間により、健康保険、及び厚生年金保険、並びに雇用保険に加入することになります。

以上でございます。

10番（福井保夫） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、福井議員。

10番（福井保夫） まあ、あの、やはり定年という区切りがありますので、人件費その他削減を考慮して、今後検討していただきたいと思います。

まあ、あの、最後に、中学校給食も始まります。

今日の朝の番組で、秋田県の五城目第一中学校の給食を取り上げていました。

コンテスト最高票を獲得、地元のものを使い、地元の人と一体となった給食でした。

まあ、安堵町も地域合ったものを取り入れ、いいスタートを切ってほしいと思います。

以上で、10番福井の質問を終わらせていただきます。

議長（山岡 敏） これで、10番福井議員の一般質問を終わります。

議長（山岡 敏） 続いて、6番松田議員の質問を許します。

6番（松田和代） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、松田議員。

（6番松田和代議員 登壇）

6番（松田和代） おはようございます、6番松田和代でございます。

その後の空き家、廃屋対策について

総務省の調査では、平成25年10月1日時点で、全国の空き家数は820万戸、住宅総数に占める割合は、13.5%で、今後も人口減少が進み、更に増える可能性があります。

9月議会で、一般質問させていただきましたが、7月の定例区長会で空き家の調査をお願いし、9月に提出していただくとお聞きしましたが、その結果についてお聞きいたします。

安堵町ではどのくらいの件数がありますか。

議長（山岡 敏） その後の空き家、廃屋対策について、答弁を求めます。

総合政策課長（富井文枝） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、富井総合政策課長。

（富井総合政策課長 登壇）

総合政策課長（富井文枝） おはようございます、総合政策課富井でございます。

松田議員の御質問にお答えいたします。

安堵町の空き家数は、100戸余りで、住宅総数に占める割合は、約5.4%となっております。

以上でございます。

6番（松田和代） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、松田議員。

6 番（松田和代）　その中で、活用可能な空き家数は、何件ありますか。

総合政策課長（富井文枝）　はい、議長。

議長（山岡　敏）　はい、富井総合政策課長。

総合政策課長（富井文枝）　利用可能な空き家は、約 90 件ございます。

　　以上でございます。

6 番（松田和代）　はい、議長。

議長（山岡　敏）　はい、松田議員。

6 番（松田和代）　何か措置を考えておられますか。

総合政策課長（富井文枝）　はい、議長。

議長（山岡　敏）　はい、富井総合政策課長。

総合政策課長（富井文枝）　御質問の措置方法につきましては、引き続き空き家を活用するために、空き家の適正な管理や、空き家相談窓口等の周知に努めてまいりたいと思います。

　　将来的には、所有者の希望によりまして、空き家バンク等の利活用に展開できればと考えております。

　　以上でございます。

6 番（松田和代）　はい、議長。

議長（山岡　敏）　はい、松田議員。

6 番（松田和代）　平成 26 年 9 月 24 日の新聞紙上に、来年度より国土交通省は、増加する空き家対策として、1 戸建ての空き家について、地方自治体が借り受けて改修し、貸し出す子育て活用 of 取組を促す方針を固めたと報じられておりましたが、安堵町においても、この取り組みに空き家を活用するお考えはありますか。

総合政策課長（富井文枝）　はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、富井総合政策課長。

総合政策課長（富井文枝） 少子化対策として、全国的にあの、少子化対策と、全国的の増加する空き家解消を目的に、来年度予算の要求に必要経費が盛り込まれたと、承知しております。

住みよい町づくりのために、現在実施の転入世帯家賃補助と、固定資産税の課税免除、また、地域有料住宅の確保を含めまして、総合的に取り組んでまいりたいと考えております。

町といたしましては、先ほど答弁させていただきましたように、まずは、所有者の意向を確認する必要がありますので、空き家相談窓口を周知いたしまして、売買、それから賃貸、解体等煮詰め上げるように、空き家バンク等の利活用に展開していき、将来的には、活用可能な各種制度を視野に入れながら、空き家対策を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

6 番（松田和代） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、松田議員。

6 番（松田和代） 今後も、空き家が増加する傾向にあると思われますので、区長会と連携を取りながら、対策を考えていただきたいと思います。
これで私の質問を終わります。

議長（山岡 敏） これで6 番松田議員の一般質問を終わります。

議長（山岡 敏） 続いて9 番田中議員の一般質問を許します。

9 番（田中幹男） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、田中議員。

（9 番田中幹男議員 登壇）

9 番（田中幹男） おはようございます、9 番田中幹男でございます。
私は今回3 点質問をさせていただきます。

一つは、介護保険の問題であります。

今年の4月1日より、介護保険料は6期目に入ります。

これから3年間現行5,150円の保険料が、来期から5,700円、一月当たり550円の値上げとなります。

これが3年間続くわけであります。

確かに安堵町は、介護保険が一番県下でも利用されています。

これ自体は、決して悪いことではありません。

むしろいいことだと思いますけれども、これが当然保険料の高さに繋がってくる問題があります。

現行でも、月1万5千円の年金以下の人については、普通徴収といって、役場の窓口で納める制度になっています。この人たちを中心に40名の滞納者があります。

多少保険料の値上げは止むを得ないと考えますけれども、せめて滞納者対策を是非考えていただきたいというのが、私の考え方であります。一つそれが一つ目です。

二つ目に、小中学校の今問題になっております、エアコン設置の問題であります。

まあ皆さんもご存知のように、7月や9月の暑さは、尋常なものではありません。

各家庭にエアコンが入り、学校でも職員室にはエアコンが入っております。

こういう中で、生徒だけが暑い中で勉強せいでいっても、これは無理な話だと私は思います。

私の経験からいきますと、私は長らく神奈川県に30年ほど住んでおりまして、まあ非常に高台の涼しいところに住んでおりました。

そういう関係からするとですね、大和の暑さって言うのは、はっきり言って異常ですよ。

異常、皆さん異常だっと思わないかしんないけども、関東で住んでた人間からすりゃもう、異常な暑さです。

関東がよっぽど住みやすいです。そういう意味ではね。

ですから当然東京都は100%近い、99.9%だってことですから、ほとんどエアコンが入っているのが実態です。

え、ま近畿を見ましてもね、滋賀が50.3%、京都が68.1%、大阪48%、兵庫36.4%、和歌山でも20%の設置率になっております。

ところが奈良県は、6.1%っていうほとんど無いって言う状態なんですよ、6.1%ですよ。

でま、生駒郡でみましたら、あの、平群小学校っていう学校があるんですが、

学校統合によって、出来た学校ですが、そこに昨年設置されているだけであります。

まこういう状況の中で、私はエアコンの設置は大きな課題の一つだというふうに考えますので、いかがお考えかお聞きしたいと思います。

それから3番目、まこれまでも何回か取り上げてまいりましたが、子どもの医療費助成の拡大もほんとに重要な施策の一つだというふうに考えております。

4月1日から、中卒まで広げる上牧を入れますと、県下39市町村のうち、21の自治体で中卒まで通院・入院とも無料となります、これが県下の状況であります。

ま、いま、あの少子高齢化社会ってことで、特に安堵町は、少子化率では、西城7町でも10.何パーセントという極めて低い数字となっております。

斑鳩町の率でなすと、子どもさんが大体360人足りないという水準が安堵町であります。

まこういう中でいろんな取り組みが求められていると考えますけども、この問題も大きな施策の一つになると思います。子どもっていうのはこれからの安堵町を背負って立っていただく世代です。我々はそう長くはこの世の中に存在しないわけですけども、そういう意味において、子どもさんの健やかな成長を願う上でも、子育て世代を応援するためにも、医療費助成の拡大と同時に、窓口負担の無い制度にすることが求められていると思います。

窓口負担で言えば、もう既に37都道府県が実施をしております。

10余りの都道府県しか窓口では支払いをしておりません、これが全国の実態です。

窓口で払うということは、後日には、一部負担金を除いて返還する自動償還払いになっておりますけども、せつかくの福祉医療制度の使い勝手を悪くし、受診をためらうことにもなります。

ご存知のように、早期発見、早期治療が重症化を防ぎ、医療費の抑制にも繋がると考えます。どうかご検討を、これが何回も言ってまして、考えてないっていうような返事だったわけですけども。

是非実行に向けてのね、具体化をお願いしたいというふうに考えますので、是非よろしくをお願いしたいと思います。

以上でございます、よろしくお願いします。

議長（山岡 敏） 4月改定の介護保険医療について答弁を求めます。

健康福祉課長（磯部あさみ） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい。磯部健康福祉課長。

（磯部健康福祉課長 登壇）

健康福祉課長（磯部あさみ） 改めましておはようございます、健康福祉課磯部でございます、よろしくお願い申し上げます。

それでは田中議員の質問にお答えいたします。

平成27年度から、29年度までの第6期介護保険事業計画におきまして、第1号被保険者の保険料は基本月額5,700円で昨日可決いただきました。

この6期計画におきましては、第1号被保険者の保険料負担率が、21%から22%への増加、介護サービス給付費の伸びによる増加、調整交付金の交付割合減率による収入減等々が保険料の増額要因となります。

しかし、住民の皆様のご理解を得るために、介護給付の適正化、自助努力による圧縮軽減に勤めまして、保険料は基準月額5,700円に抑え、基準年額6万8,400円で設定させていただきました。

滞納につきましては、ただ今徴収室を中心に連携と協力をし、努力しておりますので、今後とも鋭意努力してまいりたいと思います。

介護保険制度は、40歳以上の住民が皆で助け合う制度であり、保険料を所得に応じて設定することにより、所得の低い方への必要な配慮を行っております。

以上でございます。

9番（田中幹男） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、田中議員。

9番（田中幹男） まあ、是非ですね、あの普通徴収の人について言えばね、年金、年18万、月に1万5千円以下の人たちをねいうわけで、まあ、私がそういう立場に立ったら、私も払えません。

18万で払えないということ自体が私は、無理な数字だっていうふうに考えます。

これがこれまでね、国としても最低のあれは考えているようすけども、ま、その計画も大幅に減免の措置が少なくなった制度になりつつあるようです。

是非その辺については、あの、弱者を助けることが決して不公平な言うことではないと私は考えますのでね、是非そういう点でほんとに力を入れて、考えていただきたいというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと

思います。

議長（山岡 敏） 田中議員、質問それでよろしいですか。

9 番（田中幹男） はい。

議長（山岡 敏） 続いて、小中学校の普通教室のエアコン設置について、答弁を求めます。

教育長（楮山素伸） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、楮山教育長。

（楮山教育長 登壇）

教育長（楮山素伸） 田中議員の御質問にお答えをさせていただきます。

ここ数年来、世界的な異常気象、及び地球温暖化の影響により、1 年を通じて寒暖差が激しく、本町においても、昨年 7 月の午後 2 時になる教室温度は 30 度以上続いた日が数日あったと聞いております。

エアコンの設置状況でございますが、昨年 9 月の議会におきまして、同様の御質問にお答えをさせていただきましたとおり、現在安堵小学校、中学校普通教室へのエアコンの設置はしておりません。

議員ご指摘のとおり、奈良県のエアコン設置状況は全国平均に比べ低い状況にあります。

本町といたしましては、猛暑の対策として、平成 23 年度に小中学校普通教室に、各 2 台の扇風機を設置しております。

扇風機設置後熱中症による重篤な体調不良での報告もなく、一定の効果があったと考えており、今後も夏場の熱中症による体調不良の児童生徒に対しては、エアコンを設置している教室での対応を行い、水分補給をはじめ、健康管理には十分な注意を心がけてまいりたいと考えております。

以上でございます。

9 番（田中幹男） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、田中議員。

9 番（田中幹男） 私は、あの、この大和に引っ越してきました、ま安堵町ですね、ま 15 年経ちます。

それ以前は、さっきも話しましたが、神奈川県箱根に近いそういう所に住んでいまして、環境的には神奈川のほうが遥かにいい、恵まれた環境です。

で、私の家はエアコンは無かったんです。そういう高台に住んでいたんです。

白樺の木が3本ありました。白樺の木って言うのはご存知のとおり、涼しくなかったら駄目になっちゃうんですよ。そういうところから30年居てこっちに来ました時ね、たまたまその年の9月に引っ越してきたんですけど、もう残暑でもう引っ越した当日からもう帰ろうかなって思いました、また。

そんなくらいね、この大和のこの盆地特有の暑さっていうかな、もうほんとに違うんだよね、同じ暑さでも、温度が高くて。

ほんとにむっとするような暑さっていうのは、もう、まそれでも不思議なもので、そんなのずっと繰り返してきますと段々慣れちゃって、もう大和のあれになっちゃてるわけやな、自分自身も。

まそういうことから考えると、すごい暑いのは事実ですよ。

でまして、各家庭に当然、各部屋にエアコンが入っているような状況の中でね、教室だけ無いって言うのはね、どう考えてもおかしいと思いますし、是非ね、やっぱり入るべきだと思います。

で、奈良県はまた、それでいながら、教育熱って言うのはすごい高いんですよ、この県はね。子どもさんにかかる費用って言うのはもう全国1位クラスに高いっていうふうに聞いてますので、まそういう意味においてもね、やっぱり、勉学する場所ですからね、いい環境にもってってやりたいというふうに私も思いますので、当然県にも私たちは要求を出しております。

ですけども、ま、町としても考えていただきたいていうのが、私の要求であります。

その辺について、再度、教育長お願いしたいと思います。

教育長（楮山素伸） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、楮山教育長。

教育長（楮山素伸） エアコンの設置につきましては、その設置費用及び、維持管理費用等、財政状況を勘案しつつ、今後の検討課題とさせていただきたいと思えます。以上でございます。

9 番（田中幹男） 結構です。

議長（山岡 敏） 続いて、子どもの医療費助成を、通院も中学校卒業までに、ついて、答弁を求めます。

住民課長（堀川雅央） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、堀川住民課長。

（堀川住民課長 登壇）

住民課長（堀川雅央） 失礼します、それでは、子どもの医療費を通院も中学卒業まで、という御質問について、お答えさせていただきます。

子ども医療費助成の拡充につきましては、先の6月議会では、県レベルでの一定の基準を示していただくことが何よりだと考えています、と答弁させていただき、乳幼児の健康、命を守るという施策については、少なくとも県レベルで一定の基準を設けていただくよう要望してまいる考えに変わりはありません。

従いまして、議員としての立場で、国、県への働きかけを更に強化していただければ幸いかと考えているところでございます。

当町におきましても、子育て支援につきましては、来年度から、安堵保育園における保育標準時間認定者の保育時間を、1日当たり11時間とし、土曜日においても同様とするなど、保育時間の拡充を図り、また、昨日御可決いただきました、放課後児童健全育成事業につきましても、施設を増設するなど、子育て環境の整備に努め、子ども子育て支援につきましては、事業を拡大し、住民の方々の利便性の向上に努めているところでございます。

議員御質問の、子ども医療費の拡充につきましては、子育て支援の重要な柱の一つであることも重々承知しております。

当町における、定住促進施策として、ごみの無料化の継続、転入世帯等の家賃補助制度並びに、土地に係る固定資産税課税免除制度等にも取り組んでおり、財政支出も大きなものがございます。

今後、財政状況を見極めながら、対応方法を考えてまいる所存でございます。以上でございます。

9番（田中幹男） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、田中議員。

9番（田中幹男） まあ、何回も質問させていただいておりますので、全部は言いま

せんけども、とにかく少子高齢化の社会の中で、やっぱり私はほんとに重要な施策の一つの、またそんな中でも一番大きな問題だろうというふうに思います。

隣の斑鳩町では、最近保育園が足りなくてですね、民間の保育園を作るってことに、出来たのかと思います。

そういう方向性で子どもさんが随分増えております。先ほども言いましたけども、斑鳩の基準で合わせると、360人ほど安堵町の子どもさんの人口は少ないのであります。

斑鳩町は15歳以下の人口が14.8%に対し、安堵町は10.08%であり、西域7町では一番低いという数字が出ております。

高齢化では平群町が一番高い、安堵町も低いほうでは決してありませんけども、28%というふうになっております。

そういうことで、少子高齢化社会っていうのは、安堵に限らず、これからどこの市町村にもぶつかってくる問題であります。

しかしながら、やっぱり人口を、減を食い止めていかないと、このまちの将来もありません。そういう子どもさんを大事にする施策、なんとしても私は実現させるべきだと思います。

もちろん、どんな問題でも金がかかります。

ですから私は、直ぐにとは言いません、予定をもって、計画を立てて、是非実行していただきたい、これが切なるお願いであります。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上で質問を終わります。

議長（山岡 敏） これで9番田中議員の一般質問を終わります。

議長（山岡 敏） 続いて、2番浅野議員の一般質問を許します。

2番（浅野 勉） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、浅野議員。

（2番浅野 勉議員 登壇）

2番（浅野 勉） 議席番号2番浅野勉でございます。

本日の質問事項、安堵町の高齢者福祉等についての今後の展望について
質問要旨、平成26年6月に施行された、医療介助総合確保推進法に基づき、

国の福祉行政制度が改正されました。

安堵町の高齢者福祉行政等の課題と、今後の具体的な施策について伺います。

議長（山岡 敏） 安堵町の高齢者福祉等についての、今後の展望について、答弁を求めます。

健康福祉課長（磯部あさみ） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、磯部健康福祉課長。

（磯部健康福祉課長 登壇）

健康福祉課長（磯部あさみ） 失礼いたします。

それでは、浅野議員の質問に御答えいたします。

国の制度改正に基づき、安堵町でも団塊の世代が75歳となる、2025年を見据えて、みんなが住み慣れた地域で、いくつになっても健康で、心豊かな生活が送れる町への取り組みを進めるため、安堵町高齢者福祉計画及び、第6期介護保険事業計画を今年度に策定しました。

基本目標としまして、まず一つ目、健康の維持と介護予防、そして生きがいを見出して元気で楽しく生活できることです。

次二つ目は、安心して自分らしく生活できるために、早期発見、早期対応できる体制作りを図ることです。

更に三つ目は、医療、介護、予防、福祉、生活支援サービスが提供され、認め合い、支え合って生活できる地域包括ケアシステムの構築です。

これらの目標達成のために、住民一人ひとりが参画し、地域で支え合う、共助、互助の関係を確立していくことが、今後の課題であると考えております。

また、高齢者を地域で支えていくために、西和7町で西和地域在宅医療包括ケア推進プロジェクト連携協議会を設置し、保健、医療、福祉関係者が一堂に会して、在宅医療の体制整備、医療と介護の多職種連携についての協議を進めているところでございます。

2番（浅野 勉） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、浅野議員。

2 番（浅野 勉） ただ今、素晴らしい目標を掲げられました。

みんなが住み慣れた地域で、いくつになっても自立した健康で心豊かな生活が送れる町ということを目指しておられます。

私自身この、心豊かな生活が送れる町という内容に対しまして、以前マザー・テレサが、あの来日された際に、心の豊かさとは、物が豊かである、それも大切なことなんですけども、分かち合えることを、彼女は残していただきました。分かち合える仲間がいる、そしてまた、分かち合えるそういう家族が居る、そういう町づくりを今後とも進めていかれることを、私自身も望んでおります。

では、現在町内における、具体的な活用について御説明をよろしく願いいたします。

健康福祉課長（磯部あさみ） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、磯部健康福祉課長。

健康福祉課長（磯部あさみ） それでは、自席から失礼いたします。

安堵町におきましても、各自治体活動の中で、住民の方が自主的に開催する、ふれあいいきいきサロン等が定期的に関われ、交流の場を広げる機会が増えております。

また、老人会が隣近所を対象に、お助けマンの取り組みを始めるなど、地域での支え合う活動となっております。

安堵町住民が一体となり、区長会、老人会、民生児童委員協議会等、住民の皆様の御協力を賜りながら、地域の実情に応じた、地域包括ケアシステムの整備に取り組んでまいりたいと考えます。

今後も、町が取り組む福祉施策については、概要を町の広報誌や、ホームページを通じて、積極的に住民に発信してまいりたいと考えております。

2 番（浅野 勉） はい、議長。

議長（山岡 敏） はい、浅野議員。

2 番（浅野 勉） ありがとうございます。

平成26年の統計によりますと、我が国全体の高齢化率は、25.9%これは、世界一です。

安堵町は約28%ということで、超超高齢社会を迎えているといえます。

先ほど御紹介をいただきました、地域包括ケアシステムが町内全域にいきわた

り、長寿であることが、互いに喜びあえる町づくりを進めていかれることを、
お願いいたしまして、本日の質問終わります。ありがとうございました。

議長（山岡 敏） これで、2番浅野議員の一般質問を終わります。

これで、一般質問を終結します。

以上で本日の日程は、全部終了いたしました。

次の会議は18日水曜日、午前10時開会でございます。

本日はこれをもって、散会いたします。

散 会

10時 51分
